

(19) The Japanese Intellectual Property Office (JP)  
(12) Laid-Open Utility Model Publication (U)

(51) Int. Cl.<sup>4</sup>  
A47J 31/02  
A23F 5/36  
A47J 31/06

(11) Laid-Open Publication No. : (Sho) 63-196624  
(43) Laid-Open Date : December 19, 1988  
(21) Application No. : (Sho) 62-87789  
(22) Filing Date : June 5, 1987  
(75) Applicant : OHMI SANGYO CO.LTD.

---

(54) Title of Invention:

Drip Type Instant Coffee

(57) What is claimed:

Drip type instant coffee comprising a cup and a cup-shaped filter, wherein the cup-shaped filter is removably fitted into an opening of the cup with a slight difference, an amount of coffee power is contained in the filter, and the opening of the cup is sealed by a sealing part with the cup-shaped filter fitted therein.

- 1: drip type instant coffee
- 2: cup
- 2a: engaging recess portion
- 3: cup-shaped filter
- 3a: engaging periphery
- 4: coffee powder
- 7: sealing part

# 公開実用 昭和63- 196624

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63- 196624

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月19日

A 47 J 31/02

8412-4B

A 23 F 5/36

6712-4B

A 47 J 31/06

A-8412-4B

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ドリップ式インスタントコーヒー

⑯ 実 願 昭62-87789

⑰ 出 願 昭62(1987)6月5日

⑱ 考 案 者 近 江 満 夫 大阪府大阪市平野区加美東3丁目3番8号 近江産業株式会社内

⑲ 出 願 人 近江産業株式会社 大阪府大阪市平野区加美東3丁目3番8号

⑳ 代 理 人 弁理士 永田 良昭

明 細 書

1. 考案の名称

ドリップ式インスタントコーヒー

2. 実用新案登録請求の範囲

1. カップの開口部に小さいカップ状フィルタ  
を取外し可能に嵌着し、

該フィルタ内に所定量のコーヒー粉を収納  
すると共に、

上記カップの開口部を、該カップにカップ  
状フィルタを嵌着した状態でシール部材に  
より密封した

ドリップ式インスタントコーヒー。

3. 考案の詳細な説明

(イ) 考案の分野

この考案は、例えば、外出先や自宅等に於いて、  
熱湯をカップ内に注ぐだけでコーヒーが作れるド  
リップ式のインスタントコーヒーに関する。

(ロ) 考案の背景

従来、一般に市販されているドリップ式のイン  
スタントコーヒーは、濾紙で形成した袋状フィル

タにコーヒー粉を収納して、この袋状フィルタに貼着した保持枠をカップの開口部に係止した後、熱湯を袋状フィルタの上から注いでコーヒー液を抽出する。

しかし、上述の保持枠は紙製であるため安定性が非常に悪く、熱湯を注ぐときの重さで折れ曲って脱落又は傾倒するという危険性を有し、コーヒー液を抽出する際には、保持枠を手で補助した状態で熱湯を注がなければならず手間が掛かり、また、上述のドリップ式のコーヒーをハイキング等の外出先で飲む場合、カップと袋状フィルタとが別体であるので、手提げ用のバスケット等にカップと袋状フィルタとを複数個収納する収納スペースがそれぞれ必要で、嵩張り携帯に不便であり、外出先で手軽に作ることができないという問題を有している。

#### (ハ) 考案の目的

この考案は、コーヒー粉を収納したカップ状フィルタをカップの開口部に嵌着して一体化した特異な構成とすることで、カップに熱湯を注ぐだけ

で、簡単に濃くのある新鮮なコーヒー液を抽出することができ、しかも、嵩張らず携帯に便利であり、外出先や自宅で手軽に作ることができるドリップ式インスタントコーヒーの提供を目的とする。

#### (ニ) 考案の構成

この考案は、カップの開口部に小さいカップ状フィルタを取外し可能に嵌着し、該カップ状フィルタ内に所定量のコーヒー粉を収納すると共に、上記カップの開口部を、該カップにカップ状フィルタを嵌着した状態でシール部材により密封したドリップ式インスタントコーヒーであることを特徴とする。

#### (ホ) 考案の作用

この考案は、シール部材を剥がしてカップの開口部を開封した後、カップの開口部にカップ状フィルタを嵌着した状態で、このカップ状フィルタを介して所定量の熱湯を注ぎ、カップ状フィルタに収納したコーヒー粉を通過させてコーヒー液を抽出し、カップ内に所定量のコーヒー液を溜めた後、カップ状フィルタをカップの開口部より取り

外して、カップ内に溜められたコーヒー液中にミルク及び砂糖を適量投入して作る。

(ハ) 考案の効果

この考案によれば、シール部材を剥がしてカップ内に熱湯を注ぐだけで、簡単にコーヒー液を即抽出することができ、この時、カップ状フィルタはカップの開口部に嵌着しているので、熱湯を注ぐときカップ状フィルタがカップの開口部より脱落せず安全であり、コーヒー液の抽出が容易に行える。

しかも、上述のカップにカップ状フィルタを嵌着して一体化しているので、ハイキング等に持参する場合にも嵩張らず携帯に便利であり、外出先や自宅で手軽に作れ利用範囲を広げることができ、さらに、カップの開口部をシール部材で完全密封して保管しているので、カップ状フィルタに収納したコーヒー粉が湿気を吸収せず、乾燥した状態が長期間維持され、インスタントでありながら香りと濃くのあるレギュラーコーヒー並の新鮮で美味しいコーヒーが何時でも飲め、保管及び取り扱

いが容易である。

(ト) 考案の実施例

この考案の一実施例を以下図面に基づいて詳述する。

図面はドリップ式インスタントコーヒーを示し、第1図及び第2図に示すように、このドリップ式インスタントコーヒー1は、発泡合成樹脂で形成したカップ2の開口部周縁に係止凹部2aを形成し、このカップ2の開口部と嵌合する小さいカップ状フィルタ3を濾紙で形成すると共に、このカップ状フィルタ3の開口側周縁に形成した係止縁部3aを、カップ2の開口部周縁に形成した係止凹部2aに係止して、カップ2の開口部にカップ状フィルタ3を取り外し可能に嵌着している。

上述のカップ状フィルタ3は、所定量のドリップ用コーヒー粉4を凹部3bに収納し、このコーヒー粉4の上に、ミルク及び砂糖を所定量充填したミルク袋5と砂糖袋6とをそれぞれ収納して、このカップ状フィルタ3をカップ2の開口部に嵌着した状態で、カップ2の開口部にアルミ箔等で

形成したシール部材7を貼着して、外気と遮断された状態に完全密封している。

上述のシール部材7の裏面側には、コーヒー粉4を乾燥するための乾燥剤8を装着している。

前述のカップ2の外側面には、攪拌用の棒状スプーン9を接着テープ10で貼着し、さらに、このカップ2の開口部には、対向する両内周面の2個所に溝状の飲み口2b、2bを開口方向へ向けて形成している。

このように構成したドリップ式インスタントコーヒー1の抽出手順を以下説明する。

先ず、第3図に示すように、シール部材7を剥がしてカップ2の開口部を開封し、カップ2内よりミルク袋5と砂糖袋6とを取り出した後、カップ2の開口部にカップ状フィルタ3を嵌着した状態で、このカップ状フィルタ3を介してポット等より所定量の熱湯11を注ぎ、カップ状フィルタ3に収納したコーヒー粉4を通過させてコーヒー液12を抽出し、カップ2内に所定量のコーヒー液12を溜める。



この後、第4図に示すように、カップ状フィルタ3をカップ2の開口部より取り外し、ミルク袋5と砂糖袋6を開封して、カップ2内に溜めたコーヒー液12にミルク及び砂糖とを好みの量だけ投入した後、カップ2の外側面より取り外した棒状スプーン9でよく掻きまぜて、コーヒー液12中にミルクと砂糖とを均一に混ぜ合せて作る。

このようにシール部材7を剥がした後、カップ2内にカップ状フィルタ3を介して熱湯11を注ぐだけで、簡単にコーヒー液12を抽出することができ、この時、カップ状フィルタ3はカップ2の開口部に嵌着されているので、熱湯11を注ぐときカップ状フィルタ3がカップ2の開口部より脱落せず安全であり、コーヒー液12の抽出が容易に行える。

しかも、上述のカップ2にカップ状フィルタ3を嵌着して一体化しているので、ハイキング等に持参する場合に嵩張らず携帯に便利であり、外出先や自宅で手軽に作れ利用範囲を広げることができる。

さらに、カップ2の開口部をシール部材7で完全密封して保管しているので、カップ状フィルタ3に収納したコーヒー粉4が湿気を吸収せず、乾燥した状態が長期間維持され、インスタントでありながら香りと濃くのあるレギュラーコーヒー並の新鮮で美味しいコーヒーが何時でも飲め、保管及び取り扱いが容易である。

第5図に示すように、上述のカップ状フィルタ3の係止縁部3aに形成した溝部3cを、カップ2の係止凹部2aに形成した突起部2cに嵌合させて固定するもよく、この場合、カップ状フィルタ3がカップ2の開口部にしっかりと固定されるので、カップ状フィルタ3がガタ付いたり、熱湯11を注ぐときの重みで脱落するのを確実に防止することができる。

なお、この考案は、上述の実施例の構成のみに限定されるものではない。

例えば、コーヒー粉4をカップ状フィルタ3に収納した後、このコーヒー粉4の上面をフィルタ紙で被覆したり、或いは、袋状フィルタにコーヒ

—粉 4 を充填して構成するもよく、

また、ミルク袋 5 と砂糖袋 6 とをカップ状フィルタ 3 下部のカップ 2 内部に収納しておくもよい。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面はこの考案の一実施例を示し、

第 1 図はドリップ式インスタントコーヒーの展開斜視図、

第 2 図はドリップ式インスタントコーヒーの拡大縦断側面図、

第 3 図及び第 4 図はコーヒー液の抽出手順を示す説明図、

第 5 図はカップ状フィルタの他の固定例を示すカップの縦断側面図である。

1 …ドリップ式インスタントコーヒー

2 …カップ                      2 a …係止凹部

3 …カップ状フィルタ 3 a …係止縁部

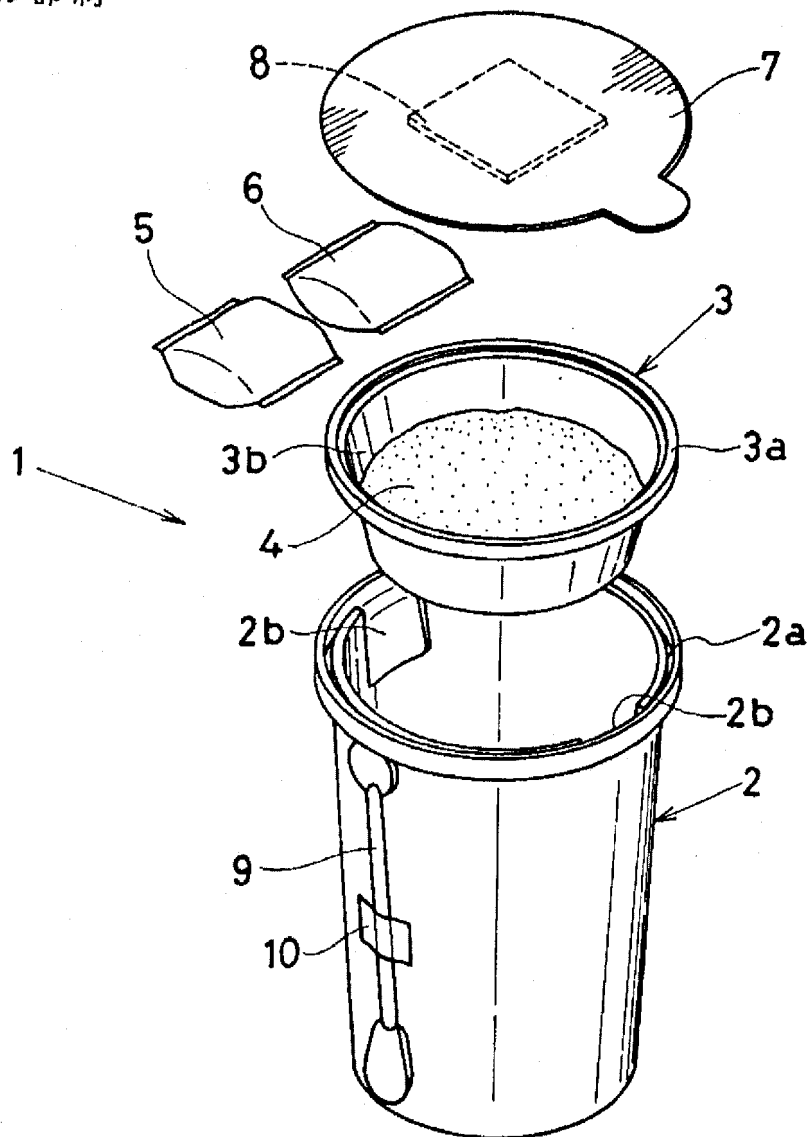
4 …コーヒー粉              7 …シール部材

代理人 弁理士 永 田 良 昭



- 1 … ドリップ式インスタントコーヒー  
2 … カップ  
2a … 係止凹部  
3 … カップ状フィルタ  
3a … 係止縁部  
4 … コーヒー粉  
7 … シール部材

第 1 図



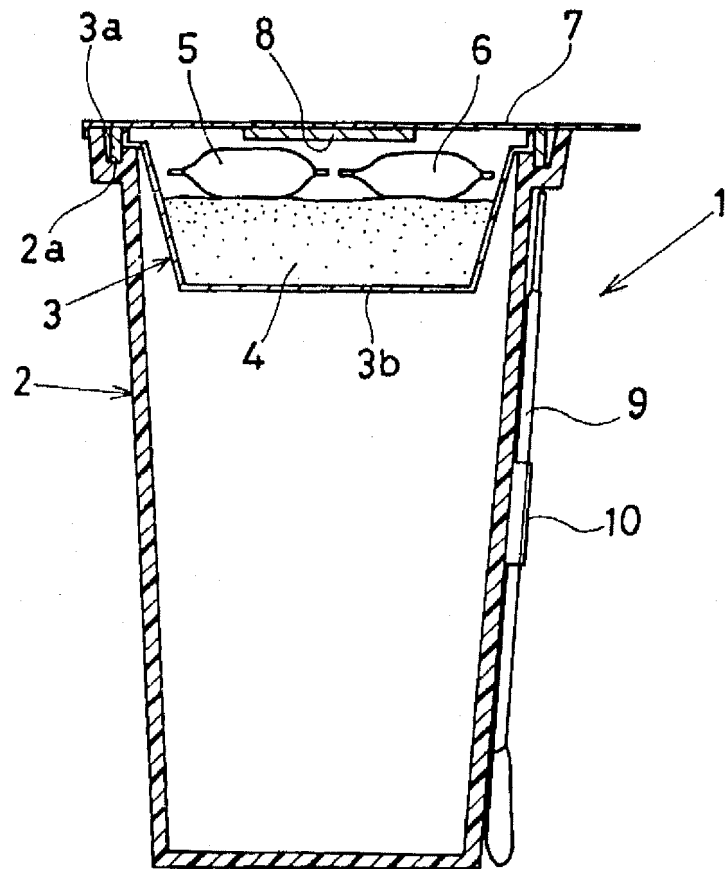
289

実開 63-19662

代理人 弁理士 永 田

- 1 … ドリップ式インスタントコーヒー
- 2 … カップ
- 2a … 係止凹部
- 3 … カップ状フィルタ
- 3a … 係止縁部
- 4 … コーヒー粉
- 7 … シール部材

第 2 図



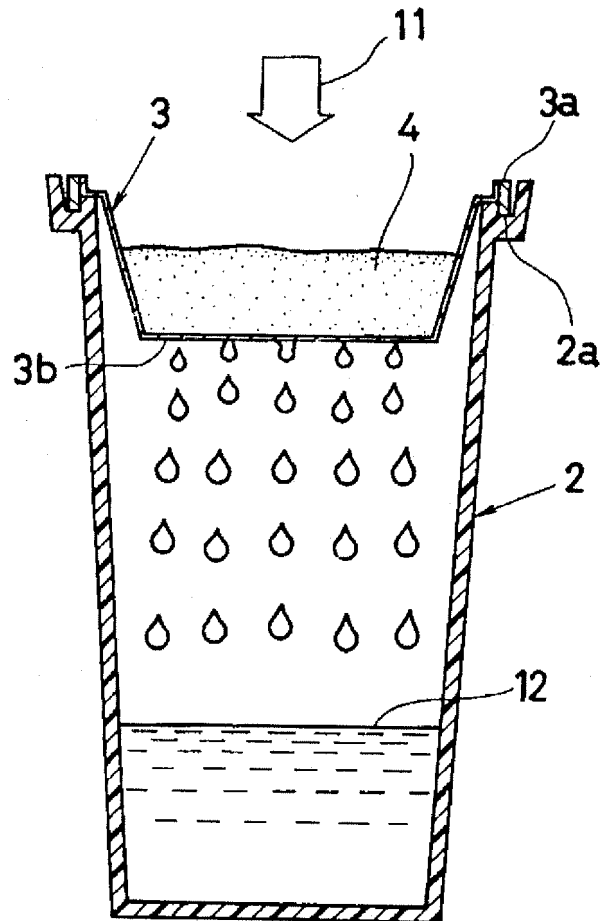
200

0311-111111

代理人 弁理士 永田 良

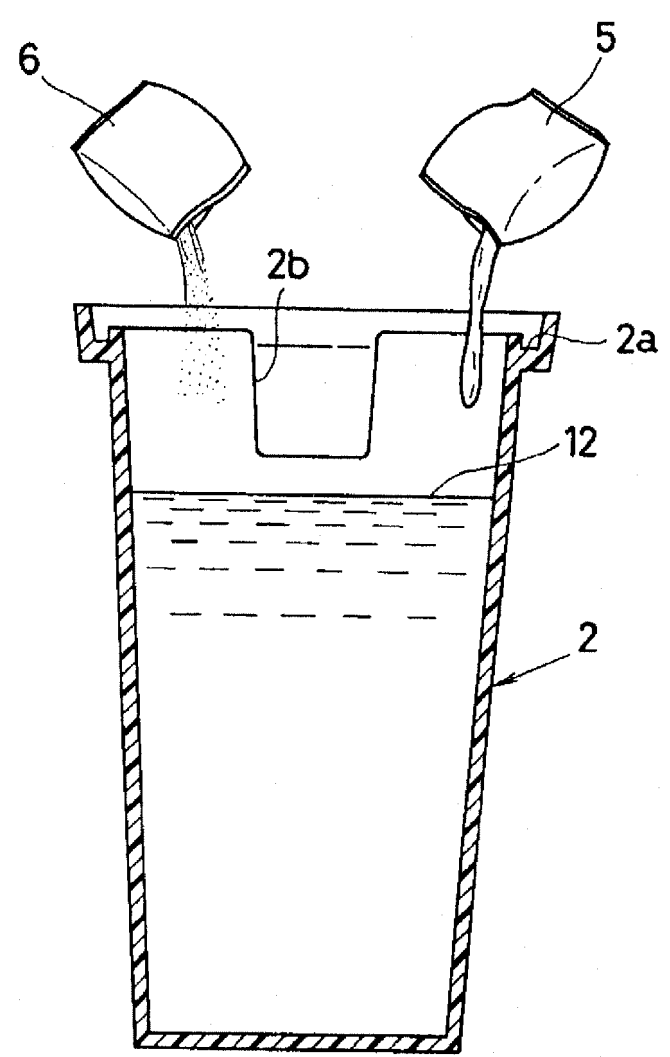
2… カップ  
2a… 係止凹部  
3… カップ状フィルタ  
3a… 係止縁部  
4… コーヒー粉

第 3 図



2…カップ  
2a…係止凹部

第 4 図



292  
実開 63-19662 4

- 2 ... カップ  
2a... 係止凹部  
3 ... カップ状フィルタ  
3a... 係止縁部  
4 ... コーヒー粉

第 5 図

